

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名：笠置町（相楽東部広域連合）

## 1. 平成23年度 行財政改革推進計画について【総括表】

|                                   |                |   |   |  |                            |
|-----------------------------------|----------------|---|---|--|----------------------------|
| 計画の概要等                            | 背景             | 相楽東部における2町1村は、少子高齢化の波に呑まれるだけでなく、若年層の急激な流失も相まって高度成長期以降急激な過疎化が進み、近年では、これに追い討ちをかけるように景気後退に伴う収支削減など、財政の硬直化は著しく市町村合併をも模索したが、組織する2町1村ではだけでは合併効果も得られず、平成21年度『相楽東部広域連合』を創設、スケールメリットを活かした事務の効率化めざし取り組んでいる。 |   |  |                            |
|                                   | 必要性            | 広域連合組織には自主財源はなく、歳入はすべて構成する自治体からの負担金(分担金)に頼り、効率的な事務事業の進捗を図るうえで、背景にも示したとおりスケールメリットを活かした執行を行っている中で、各々の自治体が行財政改革を行ううえでより効率的な自治体枠を超えた取り組みが、次世代を担う者に対し、より質の高い行政サービスの提供が出来るような取り組みを行う。                   |   |  |                            |
|                                   | 概要             | 相楽東部広域連合自治体は、創設3年を迎え相楽東部広域計画に基づく自治体枠を超えた広域的な行政改革を推進することを目的とし、業務の一元化や組織改革に取り組むことで、過疎自治体が抱える課題解決に取り組む構成する自治体の硬直する財政負担を少しでも軽減できるように努める。  |   |  |                            |
|                                   | 効果             | 構成自治体の財政負担についての軽減は、少なからずとも分母が大きくなることで支出軽減につながる事が多い他、重複する各種事務を一元化することで、硬直する財政に少なからずとも風穴を開ける効果はあると考えます。   |   |  |                            |
| 平成23年度行財政改革推進計画に伴う事業実績による行革効果について |                |   |   |  |                            |
| 事業分類                              | 事業名・実施項目       | 改革項目  | 取組実績の概要   | 主な実績数値（出来高数値等）   | 行革効果（単位：人・千円等）             |
| 小規模市町村支援                          |                |   |   |  |                            |
| 広域連携事業支援                          | 相楽東部広域連合負担金    |   |   |  |                            |
|                                   | (広域連携ネットワーク強化) | 業務改革  | 連携強化、事業支援強化に活用するための公用車の購入   | 公用車3台<br>(事務局2台、笠置中学校1台)   | 公用車の更新による管内各施設との連絡調整時間の短縮等 |
|                                   | (施設長寿命化)       | 投資改革  | 稼働10年を超える東部クリーンセンターの設備及び機械の計画的更新・修理による施設の長寿命化の推進                  | 水源地浚渫改修及びトラックスケール改修  | 計画修繕の実施による抜本改修の予防          |
|                                   | (学力充実強化)       | 投資改革  | 笠置中学校及び和東中学校への教科専門講師の配置による質の高い教育の提供と特別支援教育支援員の配備によるきめ細やかな教育の充実の推進 | 笠置小学校複式学年加配1人、中学校学力充実(国・数・社・英教科主要5教科に併せて実技教科等、合計8人)、特別支援学級支援専門教諭配置 | 22,579千円                   |
| 緊急公債費支援                           |                |   |   |  |                            |

(記載要領)

- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 「主な実績数値（出来高数値等）」、「行革効果」については、出来るかぎり数値化した客観的な指標を記載すること。

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名 笠置町(相楽東部広域連合)

## 2. 平成23年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

| 事業分類                   | 改革項目   | 事業名・実施項目     |  |  |  |  |  |  |  |
|------------------------|--|--------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 広域連携事業支援               | 業務改革   | 広域連携ネットワーク強化 |  |  |  |  |  |  |  |
| 事業着手前                  |  |              |  |  |  |  |  |  |  |
| 課題・現状                  | 相楽東部2町1村では、若年層の急激な流出や少子化の波を受け、過疎・高齢化が進んでいる。このため、スケールメリットを活かせる分野において、広域連合による連携を図りつつ、住民負担の軽減、効率的な公共サービスの提供に取り組むことが必要である。 |              |  |  |  |  |  |  |  |
| 事業概要                   | 2町1村に点在する学校・社会教育施設間の連絡調整・事業実施を行うために欠かすことのできない公用車を更新するもの。   |              |  |  |  |  |  |  |  |
| 期待される事業効果等             | 公用車の購入に伴う事務連絡の時間短縮、輸送手段の確保を図り、各施設間の連携強化や事務局による事業支援の強化を推進する。  |              |  |  |  |  |  |  |  |
| 事業実績                   |  |              |  |  |  |  |  |  |  |
| 取組状況                   | 公用車台数を増やすことで、管内拡大に伴う事務連携の物理的効率化、時間短縮、連絡調整の多用・複数化が達成できた。  |              |  |  |  |  |  |  |  |
| 主な実績数値<br>(出来高数値等)     | 連合事務局 1台, 教育委員会事務局 1台, 笠置中学校 1台の計3台を購入、配置  |              |  |  |  |  |  |  |  |
| 期待される事業効果等<br>に対する達成状況 | 未達成  | (左の理由)       |  |  | 連合化に伴い管内が拡大し、事務連携に時間を要している。本事業により幾分かは解消できたものの、絶対的な解決にはネットワーク整備などが必要であり、情報の共有が不十分であると考えている。 |  |  |  |  |
| 計画数値の内容                | 公用車購入費用  |              |  |  |  |  |  |  |  |
| 年度                     | 23   |              |  |  |  |  |  |  |  |
| 本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)  |  |              |  |  |  |  |  |  |  |
| 本事業の実績額(b)             | 3,234  |              |  |  |  |  |  |  |  |
| 行革効果(a)-(b)            |  |              |  |  |  |  |  |  |  |

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名 笠置町(相楽東部広域連合)

## 2. 平成23年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

| 事業分類                   | 改革項目   | 事業名・実施項目 |  |  |  |  |  |  |
|------------------------|--|----------|--|--|--|--|--|--|
| 広域連携事業支援               | 投資改革   | 施設長寿命化   |  |  |  |  |  |  |
| 事業着手前                  |  |          |  |  |  |  |  |  |
| 課題・現状                  | 相楽東部2町1村では、若年層の急激な流出や少子化の波を受け、過疎・高齢化が進んでいる。このため、スケールメリットを活かせる分野において、広域連合による連携を図りつつ、住民負担の軽減、効率的な公共サービスの提供に取り組むことが必要である。 |          |  |  |  |  |  |  |
| 事業概要                   | 稼働10年を超える東部クリーンセンターの設備及び機材の計画的更新・修理により、施設の長寿命化を推進する。   |          |  |  |  |  |  |  |
| 期待される事業効果等             | 先送りしがちな設備・機材の更新について、本交付金の活用により計画的な更新・修理が可能となり、施設の維持管理コストの低減・施設の長寿命化が図られる。  |          |  |  |  |  |  |  |
| 事業実績                   |  |          |  |  |  |  |  |  |
| 取組状況                   | 施設老朽化の改修, 施設水源の確保, トラックスケールシステム改修を実施   |          |  |  |  |  |  |  |
| 主な実績数値<br>(出来高数値等)     | クリーンセンター水源井戸浚渫改修, トラックスケールシステム新規改修   |          |  |  |  |  |  |  |
| 期待される事業効果等<br>に対する達成状況 | 達成   | (左の理由)   | 施設稼働後15年を目前に各設備の老朽化、摩耗が目立ち、経年劣化による修繕が生じ始めている。各設備について当初の計画どおりの期間、使用できるように計画的に修繕を行い、抜本的な改修案件が生じることを予防することができた。 |  |  |  |  |  |
| 計画数値の内容                |  |          |  |  |  |  |  |  |
| 計画数値の内容                | 長寿命化改修費用   |          |  |  |  |  |  |  |
| 年度                     | 23   |          |  |  |  |  |  |  |
| 本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)  |  |          |  |  |  |  |  |  |
| 本事業の実績額(b)             | 7,673  |          |  |  |  |  |  |  |
| 行革効果(a)-(b)            |  |          |  |  |  |  |  |  |

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名 笠置町(相楽東部広域連合)

## 2. 平成23年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

| 事業分類                   | 改革項目   | 事業名・実施項目 |                               |  |  |  |  |  |  |
|------------------------|--|----------|-------------------------------|--|--|--|--|--|--|
| 広域連携事業支援               | 投資改革   | 学力充実強化   |                               |  |  |  |  |  |  |
| 事業着手前                  |  |          |                               |  |  |  |  |  |  |
| 課題・現状                  | 相楽東部2町1村では、若年層の急激な流出や少子化の波を受け、過疎・高齢化が進んでいる。このため、スケールメリットを活かせる分野において、広域連合による連携を図りつつ、住民負担の軽減、効率的な公共サービスの提供に取り組むことが必要である。 |          |                               |  |  |  |  |  |  |
| 事業概要                   | 笠置中学校及び和東中学校への教科専門講師の配置による質の高い教育の提供と特別支援教育支援員の配備によるきめ細やかな教育の充実の推進を図る。  |          |                               |  |  |  |  |  |  |
| 期待される事業効果等             | 次世代を担う児童生徒により質の高い学習機会、きめ細かな教育の提供を行うことで学力の向上を図る。  |          |                               |  |  |  |  |  |  |
| 事業実績                   |  |          |                               |  |  |  |  |  |  |
| 取組状況                   | 児童生徒減少に伴う教員配置への対策。複式学級学力補充、特別支援対応  |          |                               |  |  |  |  |  |  |
| 主な実績数値<br>(出来高数値等)     | 笠置小学校児童減少に伴う複式学級編成に伴う加配教諭対応、中学校専門教科教諭配置、特別支援学級対応教諭配置   |          |                               |  |  |  |  |  |  |
| 期待される事業効果等<br>に対する達成状況 | 達成   | (左の理由)   | 児童生徒の学力維持、志望校進学成果等、一定の成果を残した。 |  |  |  |  |  |  |
| 計画数値の内容                |  |          |                               |  |  |  |  |  |  |
| 計画数値の内容                | 正規職員の人件費との比較   |          |                               |  |  |  |  |  |  |
| 年度                     | 23   |          |                               |  |  |  |  |  |  |
| 本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)  | 32,000   |          |                               |  |  |  |  |  |  |
| 本事業の実績額(b)             | 9,421  |          |                               |  |  |  |  |  |  |
| 行革効果(a)-(b)            | 22,579   |          |                               |  |  |  |  |  |  |

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。